

# 令和3年度 岩内町立岩内西小学校 学校経営方針

## 1 はじめに

未来を生きる子どもたちが夢を持ち可能性に挑戦するために、学校は「生きる力」を育んでいく使命がある。複雑で予測困難な社会であるからこそ、変化を前向きに受け止め、感性を働かせて人生をより豊かにすることや、複雑・多様化した現代社会の課題に対して「主体的な学び」や多様な人々との「協働」を通じて課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出すことが必要となる。

令和2年度より全面実施となった学習指導要領では、「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を①何を理解しているか、何ができるか（知識・技能の習得）②理解していること、できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等の育成）③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力・人間性等の涵養）という三つの柱に整理がなされた。本校においても、子どもたちの資質・能力を育成するために、カリキュラム・マネジメント、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善、家庭や地域との連携・協働を組織的に推進していく。

## 2 学校教育目標

「伸びる喜びを見つけよう」

学ぶよろこび やりぬくよろこび 助け合うよろこび

## 3 重点目標

学び合い わかり合い 高め合う 西小の子

子どもたちが学ぶことの大切さや楽しさを感じ主体的に学びに向かう、子ども同士の協働により学びを深める。そのためには、子ども同士が対等で良好な関係が不可欠であり、学びの土台として強固なものにしていく必要がある。

子どもが自分らしさを表現するためには、一人一人を温かく受け入れる雰囲気、安心感・所属感のある学校、学年学級でなければならない。このような学校づくり、学年学級づくりを、本校の教育活動全体を通して創り上げていく。

また、自分の力で学びを進める力を培うとともに、子ども同士で学び合いによる協働する喜びと新たな価値を共有させていきたい。学ぶ楽しさ、学び合う楽しさを味わわせ、子ども同士がそれぞれのよさを認め理解し、互いにより影響を与えながら高め合う姿を目指していく。

## 4 育てたい子ども像

- ◎主体的に学び続ける子
- ◎温かい心で相手を認める子
- ◎あきらめずに努力する子

## 5 経営の基本方針

- (1) 子ども一人一人が「西小の宝」であるという認識のもと、組織的に教育活動を推進する。
- (2) 主体的な学び、協働する活動を推進し、生きる力を育成する。
- (3) 特別支援教育の視点を持ち、生徒指導と特別支援教育を推進する。
- (4) 保護者、地域に信頼され、つながりをもとに協働を推進する。
- (5) 他校種（幼保、東小、一中、二中）との連携を推進する。

## 6 チーム西校の目標

# 「共有」と「見える化」

### (1) 学びの土台をつくる

#### 【具体的な取組】

- ①学習規律の定着→「西小そろえる活動」の徹底
- ②学習過程の共有と徹底
- ③ノート指導、板書方法の共有と徹底
- ④習熟度別学習の導入
- ⑤ユニバーサルデザインの視点を生かした教室環境の整備、共有と徹底
- ⑥ICT、タブレットの活用
- ⑦校舎内外の安全点検、備品の管理
- ⑧感染症対策の継続

### (2) 問題解決的な学習で「わかる授業」をつくる

#### 【具体的な取組】

- ①実態に応じた適切な課題の設定
- ②思考力・表現力を育む場面の設定
- ③振り返りと習熟の時間の確保

### (3) 温かい受容的な人間関係をつくる

#### 【具体的な取組】

- ①相手を大切にする挨拶や言葉遣いの定着
- ②認め合う場面や活動の設定
- ③自主性、思いやり、責任感を育てる異学年交流
- ④温かい学校、学級づくりを「見える化」する活動
- ⑤Q-Uの活用

### (4) 健康な心とからだをつくる

#### 【具体的な取組】

- ①新体力テスト全校実施による実態把握と改善
- ②自己の成果の「見える化」
- ③実践意欲を高め、目標を設定し継続して取り組む活動の実施
- ④生活習慣の意識付けを図る生活リズムチェックシートの活用
- ⑤食に関する指導、保健指導の授業実践

### (5) 信頼とつながりをつくる

#### 【具体的な取組】

- ①積極的な教育相談や保護者との面談
- ②学校便り、HP、安心メール等による情報発信
- ③地域と連携した教育活動の工夫（生活科、総合的な学習、道徳、防災、環境、食育等）
- ④支援を必要とする子どもへの支援体制の確立と情報の共有
- ⑤関係機関とのスピード感のある連携